

昨年11月から12月にかけて、18歳以上の町民を対象にまちづくりに関するアンケート調査を実施しました。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。令和5年度予定しております総合計画中期計画策定に向けた資料とさせていただきます。

今回は、アンケート結果について、主な内容をお知らせします。なお、詳細につきましては、町ホームページからご覧になれます。(トップページ↓行政情報↓総合計画↓下川町総合計画アンケート報告書)

☑ 目指す目標値

第6期下川町総合計画では、「下川町は住み良いところだ」と思う人」と「下川町に住み続けたいと思う人」の割合を増やすことを目標に、それぞれ77% (R4目標値) を目標値に掲げています。

[表1]

項目	H26 (2014)	H29 (2017)	R4 (2022)
下川町は住み良いところだと思う人	79.1%	73.9%	69.8%
下川町に住み続けたいと思う人	68.9%	73.1%	73.0%

☑ まちづくりに対する満足度と関心度

今回の結果では、「下川町は住み良いところだと思う人」は69・8 (H29比4・1ポイント減少)、「下川町に住み続けたいと思う人」は73% (H29比0・1ポイント減少) という結果になりました。「表1」

「住み良いところだと思う人」と「下川町に住み続けたいと思う人」に共通して見られる傾向として、若い人ほど、「住みにくい」または「町外のどこかに移りたい」と回答している割合が高い傾向にあります。

また、住み続けたい理由として、「自然環境が良い (43%)」、「居住環境が良い (38・6%)」、「災害や交通事故等の危険が少ない (32・3%)」の順に多く、逆に、町外に移りたい理由として、「買い物する場が少ない (52・9%)」、「交通の便が悪い (52・9%)」、「福祉・医療環境に不安がある (41・8%)」の順に多い結果となりました。

[表2]

項目	H29 (2017)	R4 (2022)
下川町のまちづくりに対する満足度を点数で表すと何点ですか (満足している10点、満足していない0点として回答)	5.88	6.00
下川町のまちづくりに対する関心度を点数で表すと何点ですか (関心がある10点、関心がない0点として回答)	5.94	6.17

※10点満点の平均値。H26 (2014) は調査項目なし。

☑ どのような施策を重点的に取り組むべきか

満足度の高い項目として、下水道などの生活環境や水道水の安定供給といったインフラに関する項目の満足度が高く、その一方で、障がい者の就労や社会参加の機会、子育て環境に関する項目に関する満足度が低い結果となりました。

「どのような施策を重点的に取り組むべきか」に対して、前回 (H29) 同様、子育て環境や高齢者に関することが上位を占め、再生可能エネルギーの推進では、30代と40代で重視する傾向にあります。「表3」「表4」



[表3] 重点的に取り組むべき施策 (上位5項目)

項目	H29 (2017)	R4 (2022)
子どもを産み、育てやすくするための仕組みづくり	32.0% (2位)	29.0% (1位)
高齢者が活躍でき、暮らしやすくなるための仕組みづくり	33.0% (1位)	27.3% (2位)
子どもの育成環境 (学力・経験など) の仕組みづくり	25.8% (3位)	23.6% (3位)
再生可能エネルギーの推進	16.3% (8位)	23.0% (4位)
既存産業の収益と雇用の維持	21.2% (6位)	20.7% (5位)

※括弧は調査年度における順位。

[表4] 年代別

項目	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
子どもを産み、育てやすくするための仕組みづくり	41.7%	58.7%	40.7%	31.8%	33.1%	19.7%
高齢者が活躍でき、暮らしやすくなるための仕組みづくり	16.7%	22.2%	25.9%	29.2%	32.0%	35.8%
子どもの育成環境 (学力・経験など) の仕組みづくり	27.1%	54.0%	43.8%	22.1%	21.5%	15.1%
再生可能エネルギーの推進	27.1%	31.7%	35.2%	27.3%	25.0%	17.7%
既存産業の収益と雇用の維持	14.6%	23.8%	21.6%	27.9%	26.2%	20.4%